

患者さんやご家族がうつ病について
本当に知りたいことを、わかりやすく、見やすく。

検索



医療機関名

ヴィアトリス製薬株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-11-2

イフェクサー®SRカプセルを服用される
患者さんとそのご家族へ

イフェクサー®SRカプセル 服用についてのQ&A



監修

三村 将 先生

(慶應義塾大学 名誉教授・予防医療センター 特任教授)



Q イフェクサー®SRカプセルは、何のためにのむおくすりですか？

A うつ病の症状や、うつ状態を改善するためのおくすりです。

うつ病やうつ状態では、気分が落ち込んだり、いつも不安を感じていたり、何をしてもやる気が起きないなどといった、こころの症状があらわれます。また、睡眠不足になったり、食欲がなくなるなど、からだの症状もあらわれることがあります。イフェクサー®SRカプセルは、これらのうつ病の症状やうつ状態を改善するためにのんでいただくおくすりです。

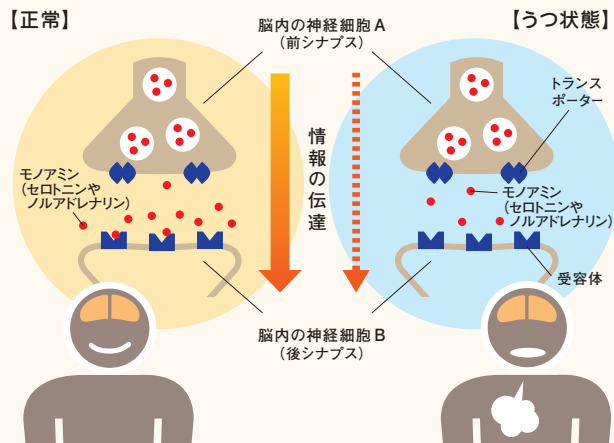
Q イフェクサー®SRカプセルは、どのようにうつ病の症状を改善するのですか？

A うつ病の原因のひとつと考えられている、「セロトニン」や「ノルアドレナリン」といった物質が関わる脳の神経伝達の働きを調整し、症状を改善します。

人の脳では、神経細胞で「セロトニン」や「ノルアドレナリン」といった物質が作られ、それらの物質が、さまざまな情報を他の神経細胞に伝えていきます（神経伝達）。そうすることで、人はものを感じたり、考えたりしています。

うつ病やうつ状態の人では、これらの物質の量が少なくなっており、神経伝達がうまく行われないことが原因で、こころやからだの症状があらわれると考えられています。

「セロトニン」や「ノルアドレナリン」は、情報を伝え終わると元の細胞に再吸収されます。イフェクサー®SRカプセルは、この再吸収を阻害することで、「セロトニン」や「ノルアドレナリン」が関わる神経伝達の働きを調整し、症状を改善します。



Q このおくすりは、どのぐらいの量をのめばよいですか？

A のむ量は、患者さんごとに適切な量に調整していきます。医師の指示に従って、決められた量をのんでください。

イフェクサー®SRカプセルには、量が異なる2種類のカプセルがあります。どの種類のカプセルをいつ、いくつのむのかを、服用する前に必ず確認してください。



イフェクサー®SR カプセル37.5mg



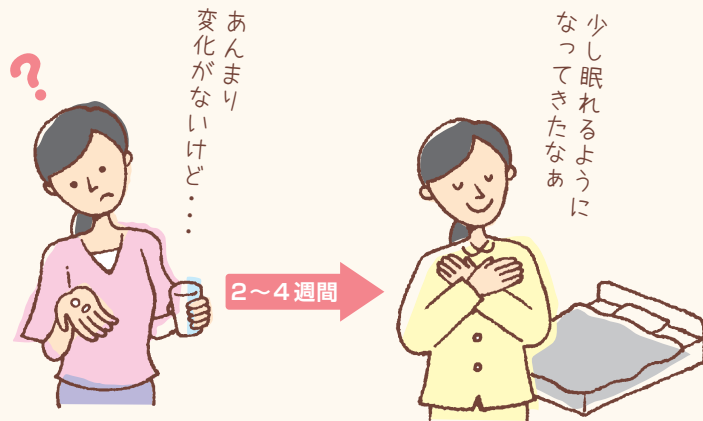
イフェクサー®SR カプセル75mg

このおくすりは医師が、患者さんの状態にあわせて、徐々にのんでいただく量を増やし、症状を改善するために適切な量に調整していきます。症状を改善するためには、医師の指示に従い、決められた量を服用していくことが大切です。

Q おくすりをのんだら、症状はすぐに改善しますか？

A 効果がでるまでには、のみはじめてから2~4週間ほどかかります。

このおくすりは、のみはじめてすぐに効果があらわれるものではありません。効果があらわれるまでには、2~4週間ほどかかります。それまでに、効果がないとご自身で判断して服用をやめしまうと、おくすりの効果を医師が判断できなくなってしまいます。決められた量を、しっかりとみ続けてください。



Q 症状がよくなった、治ったと感じたら、服用はやめてもよいですか？

A 服用をやめることで、いろいろな、あせるなどの症状があらわれてくる場合がありますので、ご自身の判断で服用をやめたり、のむ量を減らしたりせず、必ず医師に相談してください。

おくすりの効果がでてくると、「よくなった」、「治った」と感じることもあります。しかし、だからといってご自身の判断で服用をやめたり、のむ量を減らしたりすると、些細なことで心配になる、いろいろな、あせるなどの症状があらわれることがあります。ご自身で判断して、服用をやめたり、のむ量を変えたりしないように、気をつけてください。



くすりの中止



いろいろな、あせるなどの症状

Q イフェクサー®SRカプセルには、副作用はありますか？

A のみはじめたころや増量時に、副作用があらわれることがあります。

おくすりをのみはじめたころや増量時に、副作用があらわれることがあります。しかし、多くの患者さんでは、副作用はしばらくするとおさまることが報告されています。

副作用や、その他に気になる症状などがあらわれた場合には、医師や薬剤師に相談してください。



悪心



眠気



便秘



口やのどの渇き

Q おくすりをのんでいる時に、
気をつけることはありますか？

A 不安が強くなるなど、うつ病の症状が
一時的に悪くなることがあります。
その場合は、かならず医師に相談してください。

おくすりをのみはじめたころや増量時に、不安が強くなったり、
消えてしまいたいと思うなどの、うつ病の症状が一時的に悪く
なることがあります。

また、おくすりとの関係は明らかではありませんが、不安になる、
いらいらする、あせる、興奮しやすくなる、じっとしていられない、
といった症状があらわれることがあります。このような症状が
あらわれた人では、うつ病などのももとの病気の症状が悪化
したり、消えてしまいたいと思ったり、他人に危害を加えたりする
場合もあります。



Q 18歳未満でも、
このおくすりをのんで
大丈夫ですか？

A 18歳未満の患者さんでは、
服用について医師とよく相談してください。

7～17歳のうつ病のある患者さんがこのおくすりをのんだ場合、
効果が確認できなかったという報告や、消えてしまいたいという
気持ちが強くなるといった報告があります。18歳未満でうつ病の
患者さんやそのご家族は、おくすりの服用について医師とよく
相談してください。

